

エッジAIイニシアチブ 2026

「フィジカルAI先駆者」からの提言

開催日 : 2026年6月16日(火)～ 6月18日(木)

一次申込締切: 2026年締切済日(金)

最終申込締切: セッションプラン…2026年5月19日(火)

リストプラン …2026年6月9日(火)

名称	エッジAIイニシアチブ 2026 「フィジカルAI先駆者」からの提言
開催日	2026年6月16日(火)~6月18日(木)
一次申込締切	2026年2月25日(金)
最終申込締切	セッションプラン：2026年5月19日(火) リストプラン：2025年6月9日(火)
想定視聴者属性 (業種)	製造/FA/ロボティクス/自動車/物流・流通/ICT/エネルギー/AIデータセンター/航空宇宙等の業種
想定視聴者属性 (職種)	ハードウェア&ソフトウェア&システムエンジニア/ 設計開発者/研究者/データサイエンティスト/ 機械学習の研究者/半導体製造装置・材料メーカー・商社の エンジニア/ツールベンダー等
ご協賛プラン	セッションプラン 150万円～ リストプラン 250万円～
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
主催・企画 告知・集客	
運営	アイティメディア株式会社

申込者数	想定3,000名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、 実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます。
プログラム 委員長	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 招聘研究員 内山 邦男 氏
後援	※2025年開催実績 ※同団体にて調整中

◆ 地方自治体

山口県/北海道/岩手県/山形県/石川県/三重県/広島県/長崎県/熊本県

◆ 関連産業団体

- 国立研究開発法人情報通信研究機 (NICT)
- 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
- ソフトウェア協会 (SAJ)
- 生成AI活用普及協会/日本材料学会
- 日本シミュレーション学会 (JSST)
- スマートプロセス学会
- 日本ロボット学会
- エンターテインメントXR協会
- 日本データセンター協会
- 組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会
- 電子情報技術産業協会 (JEITA)
- 日本自動車研究所
- 日本EDAベンチャー連絡会
- SEMI ジャパン
- 半導体産業人協会
- 日本機械学会
- 計測自動制御学会
- 重要生活機器連携セキュリティ協議会
- モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
- 日本ロボット工業会
- 日本シーサート協議会
- 日本半導体製造装置協会
- JPCERTコーディネーションセンター (JPCERT/CC)
- 日本OPC協議会
- 日本量子コンピューティング協会
- 量子技術による新産業創出協議会 (Q-STAR)
- The Autoware Foundation
- 一般社団法人量子フォーラム
- 量子イノベーションイニシアティブ協議会
- 日本ディーラーニング協会
- 日本ドローン協会 (JDA)
- AI・IoT普及推進協会
- 日本クラウドセキュリティアライアンス
- ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会
- セキュアIoTプラットフォーム協議会
- 日本電子デバイス産業協会
- 中小企業AI活用協会
- 北海道新産業創造機構
- 在日ドイツ商工会議所
- AIガバナンス協会

一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

過去開催実績

エッジAIイニシアチブ 2025

Edge AI Everywhere
加速する技術深化と実用化の現状

ライブ配信

視聴無料

2025.6/17(火)~19(木)

詳細はこちら>>>

名称	エッジAI イニシアチブ 2025 Edge AI Everywhere：加速する技術深化と実用化の現状
開催日	2025年6月17日（火）～ 6月19日（木） ※7月2日までアーカイブ配信
対象業種	製造/自動車/物流・流通/ICT/エネルギー/航空宇宙 等の業種
対象職種	ハードウェア&ソフトウェア&システムエンジニア設計 開発者、研究者、データサイエンティスト、機械学習の 研究者、半導体製造装置・材料メーカー・商社のエンジ ニア、ツールベンダー等
主催	
全申込者数	3,291名
視聴者数	2,656名
申込みページ	https://members12.live.itmedia.co.jp/library/ODQyMjk%253D?group=2506_EdgeAI2025
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-07-07/2d2h445

登壇講師

半導体産業「強い日本」を目指す半導体戦略の現状とこれから
経済産業省
商務情報政策局情報産業課 課長
金指 壽 氏

エッジAIの未来を築くArmの戦略
アーム株式会社
代表取締役社長
横山 崇幸 氏

加速する未来への挑戦：Rapidusのチップレット戦略
Rapidus株式会社
専務執行役員 エンジニアリングセンター長 工学博士
折井 靖光 氏

エッジで実現する生成AI：超低電力システムの新時代
EdgeCortex
グローバルセールス担当EVP
ティム・ヴェーリング 氏

大規模言語モデルの多様化と最適化戦略～知識の再構築に向けて～
国立情報学研究所
教授
相澤 彰子 氏

NVIDIAが見る生成AIの進化
エヌビディア合同会社
エンタープライズ事業本部 事業本部長
井崎 武士 氏

富岳NEXT: HPCとAIの融合に向けたプラットフォームへ
慶應義塾大学 理工学部 教授
国立研究開発法人 理化学研究所
計算科学研究センター 次世代計算基盤開発部門 部門長
近藤 正章 氏

AIエージェントの活用はクラウドから組み込み、そしてAI PCへ
AMD
AIプロダクトマネジメント担当シニアディレクター
Nick Ni 氏

データフローアーキテクチャが解決するAI電力問題
SambaNova Systems
アジア太平洋地域マーケティングディレクター
林 憲一 氏

エンジニアが知っておきたいAIセキュリティ
国立研究開発法人産業技術総合研究所
インテリジェントプラットフォーム研究部門 副研究部門長
大岩 寛 氏

産業用AIが直面する課題～業務やモビリティの未来に向けて
Continental Automotive
Head of AI for R&D
ヨルグ・ディートリヒ 氏

AI時代の自動運転～ティアフォーとAI技術への取り組みと活用～
ティアフォー
CTO R&Dユニット
高島 芳仁 氏

パナソニックが語るAI家電・サービスの最前線
パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社
くらしプロダクトイノベーション本部
AI・センシング開発部 部長
宮嶋 進 氏

GPTはさらなる拡張へ～鍵は「エッジ」への浸透～
Kneron Inc.
創設者 兼 CEO
Albert Liu 氏

▲過去実績はこちらからご確認ください

過去開催実績

エッジAIイニシアチブ 2024

Edge AI Everywhere

技術の「深化」と用途の「広がり」を探る

オンラインカンファレンス 視聴無料

2024.6/19(水)～21(金)

詳細はこちら>>>



名称	エッジAI イニシアチブ 2024 Edge AI Everywhere：技術の「深化」と用途の「広がり」を探る
開催日	2024年6月19日(水)～6月21日(金) ※7月7日(日)までアーカイブ配信
対象業種	製造/自動車/物流・流通/ICT/エネルギー/航空宇宙等の業種
対象職種	ハードウェア&ソフトウェア&システムエンジニア/設計開発者/研究者/データサイエンティスト/機械学習の研究者/半導体製造装置・材料メーカー・商社のエンジニア/ツールベンダー等
主催	
全申込者数	3,967名
視聴者数	2,440名
申込みページ	https://members13.live.itmedia.co.jp/library/NjY1NTc%253D?group=EdgeAI2024iune
開催報告書	https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-07-18/2czy4ty

登壇講師

我が国の「半導体・デジタル産業戦略」
経済産業省
商務情報政策局情報産業課 課長
金指 壽 氏

機器・エッジをスマート化する三菱電機AI「Maisart」
ーエッジAIの研究開発・実用化事例紹介ー
三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
AI研究開発センター センター長
嵯山 利貞 氏

RUMSによるエッジAI市場の共創
Rapidus株式会社
代表取締役社長
小池 淳義 氏

エッジAIによる集積回路検査の高信頼化と高効率化の両立ー車載集積回路検査への適用事例ー
京都工芸繊維大学 准教授
新谷 道広 氏

ヒューマノイドロボットとAI
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
AIST-CNRSロボット工学連携研究ラボ
連携研究ラボ長
金広 文男 氏

「AIはモノづくりをどう変えるのか」 産学協創の先端事例で探る
ーAIが縮める最先端研究と企業との距離ー
東京大学
物性研究所/量子科学連携研究機構 教授
小林 洋平 氏

エヌビディア AIエキスポリレーション
エヌビディア
日本代表 兼 米国本社副社長
大崎 真孝 氏

システムのレジリエンスに、AIはどう貢献するのか
ドイツ ラインワール応用科学大学 教授
Matteo Große-Kampmann 氏

「AIのプロ集団」テンストレントが語る、エッジAI技術の可能性
テンストレントジャパン株式会社
代表取締役社長
中野 守 氏

モビリティの新たな価値基準の創出
ソニー・ホンダモビリティ株式会社
代表取締役 社長 兼 COO
川西 泉 氏

自動運転がもたらす可能性と課題、そして近未来
BMW Japan
Director Development Japan
Lutz Rothhardt 氏

台湾の半導体産業を加速する「AI on Chip」プロジェクトの現状
台湾 工業技術研究院 (ITRI)
光電子システム研究所
副所長 兼 シニアプリンシパルエンジニア
Wei-Chung Lo 氏

自動運転の実現に向けた取組みと課題
ー先行する米国に対して日本が取るべき戦略とは？ー
株式会社サムズオフィス
代表取締役社長 (元トヨタ フェロー)
葛巻 清吾 氏

月火星探査のためのAI・ロボティクス技術についてーAI・ロボティクス技術の現状と今後の展望ー
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
宇宙探査イノベーションハブ主任研究開発員
山崎 雅起 氏

Hondaの高度運転支援・自動運転の取組み
本田技研工業株式会社
電動事業開発本部 BEV開発センター
ソフトウェアデファインドモビリティ開発統括部
エグゼクティブチーフエンジニア
波多野 邦道 氏

ABCI：オープンAIクラウドの挑戦と今後の展望
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
デジタルアーキテクチャ研究センター 副連携研究室長
高野 了成 氏

生成AI実装元年を見据えた今後のITインフラのあり方について
ーGPU等の発熱への対応と省エネ化、そして脱炭素に向けた課題解決とはー
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
クラウド&ネットワークサービス部 第二サービス部門 部門長
松林 修 氏

エッジ知能の実現に向けたAIコンピューティングの展望
東京工業大学 科学技術創成研究院
AI コンピューティング研究ユニット
ユニット長・教授
本村 真人 氏

▲過去実績はこちらからご確認ください

プログラム委員会を中心に本テーマに必要な情報を網羅します。

コンセプト

- 産・官・学・メディアで構成されたプログラム委員会を発足
- IoT機器、民生／産業機器、ロボットなどの設計／開発エンジニア、研究者などにフォーカス
- 最新のAI半導体やフィジカルAI、データセンター／インフラなど、エッジAIを取り巻く全領域を解説

コンテンツ

- プログラム委員会の選定によるキーパーソンやエキスパートの基調講演
- 「テクノロジートレンド」「エッジAIインフラ」「エッジAIユースケース」の3つを軸に、フィジカルAIの現状と可能性を探る
- 主催講演を数多く配置し協賛講演への誘導を支援

外部団体連携

- 半導体利活用分野からの誘致
- 半導体産業を重視する地方自治体との連携
- 各地域からの情報収集や当カンファレンスの情報拡散を実施

集客活動

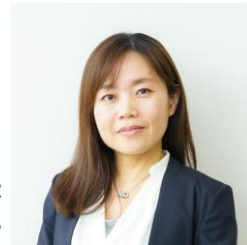
- 「EE Times Japan」「EDN Japan」を中核とした集客活動
- 後援団体の会員などのへの告知
- 本イベントの対象者である意思決定層や商品開発者などを集客

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

エッジAIイニシアチブ 2026 - 「フィジカルAI先駆者」からの提言 -

AI（人工知能）市場は加速度的に成長し、今や「AI」という言葉を聞かない日はないほどです。生成AIの技術進歩はとどまることを知らず、**エッジデバイスへの大規模言語モデル（LLM）実装**も進みつつあります。2025年は、AI PCの普及に加え、AIが現実世界の状況を認識し、それに基づいて自律的に行動する「フィジカルAI」が新たな潮流となり、ヒューマノイドロボットなどが急速な進化を遂げています。

3回目となる本カンファレンスでは、メガトレンドとなっている「フィジカルAI」の現状と可能性を、「テクノロジートレンド」「エッジAIインフラ」「エッジAIユースケース」の3つを軸に探ります。3日間を通して、これらのテーマに焦点を当てた基調講演を配置し、来場者に旬の情報を提供します。**エッジAIソリューションの開発・設計エンジニア、エッジAI搭載機器の導入を検討している方をはじめ、エッジAI関連の最新情報を知りたい技術者／研究者の方を主な対象とし、動向をお伝えします。**



EE Times Japan編集長
村尾 麻悠子

3日間の中で3つのテーマをご用意。日程に関係なく、ご希望のテーマ・セッション枠でご協賛いただけます。

デジタルイベント協賛予約システムからご予約の際は、備考欄へご協賛予定のテーマをご入力ください。 ◆予約システムURL >> [こちら](#)

テーマ**1**

テクノロジートレンド

テーマ**3**

エッジAIユースケース

テーマ**2**

エッジAIインフラ

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

テーマ 1

テクノロジートレンド

エッジAI／フィジカルAIを実現するための基盤技術の最新動向を追います。

AI半導体の進化、ローカル環境でLLMを実行するための最新半導体／ソリューション、プロセッサの次世代アーキテクチャなど、エッジAI分野におけるソリューション（特にハードウェア）および全体のトレンドを取り上げます。

キーワード

# AI半導体	# 設計ツール／開発環境	# エージェントAI
# AIアクセラレーター	# ローカルLLM	# チップレット
# NPU	# 生成AI	# 省電力化
# プロセッサ	# モデル軽量化	# 低コスト
# ボード	# AI P	

視聴者の抱える課題

- エッジAI／フィジカルAIの最新の技術動向／市場動向を知りたい
- AI半導体の性能や棲み分けを知りたい
- 生成AI(LLM)をエッジデバイスで実行するためのソリューションを知りたい
- エッジAIを導入するために、課題やソリューション全般を知りたい

テーマ 2

エッジAIインフラ

学習はクラウドで行うため、インフラの動向／導入に関する知識も重要になります。

膨大なデータを処理・学習するデータセンター、クラウドとエッジをシームレスに繋ぐネットワーク技術、AI運用におけるセキュリティ対策など、AIを社会実装するための「土台」となる技術動向を解説するとともに、電力消費を抑える次世代AIデータセンターなどのトピックスも取り上げます。

キーワード

# データセンター用半導体	# クラウド連携	# 次世代AIデータセンター
# ネットワーク	# ハイブリッドAI	# 光電融合
# データセンター	# AI-RAN	
# AIサーバ	# 5G/6G	
# セキュリティ	# ローカル5G	

視聴者の抱える課題

- AI導入によるセキュリティリスク やデータガバナンスに不安がある
- データ通信の遅延やコストをどう解決すべきか
- AIの電力消費が増大する中、データセンターやサーバの運用をどう最適化すべきか

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

テーマ 3

エッジAIユースケース

エッジAIが「いま、どこで、どのように」使われているのか、具体的な実用化事例を深掘りします。
AI搭載家電、ヒューマノイドロボット、ドローンなど多様な産業での導入効果と課題を共有します。

キーワード

# FA	# 製造業	
# ロボティクス	# 外観検査	# AI家電
# モビリティ	# 予知保全	# 導入事例
# スマート社会	# ヒューマノイド	# ROI（費用対効果）
# 医療（ヘルスケア）	# フィジカルAI	

視聴者の抱える課題

- エッジAIを導入したいが、具体的な費用対効果や成功事例が知りたい
- 自社の業務（製造、品質管理、医療）にAIをどう活用できるかヒントが欲しい
- エッジAIのユースケースの最新情報を知りたい
- 米中が先行するヒューマノイドロボット開発の現状と、日本の立ち位置を知りたい



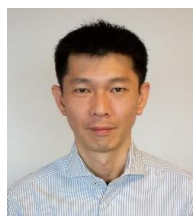
※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。



国立研究開発法人産業技術総合研究所
招聘研究員
委員長 内山 邦男



東京大学大学院 工学系研究科
教授
委員 池田 誠



東京科学大学 教育研究組織 工学院
教授
委員 一色 剛



東京農工大学工学研究院
教授
委員 岩崎 裕江



株式会社スキママッチング
代表取締役 CEO
委員 岩渕 真人



日本電気株式会社デジタルテクノロジー
開発研究所主任研究員
委員 小林 悠記



株式会社日立製作所 研究開発グループ
技術戦略室主任研究員
委員 清水 正明



熊本大学半導体・デジタル研究教育機構
准教授
委員 瀬戸 謙修



Advanced Micro Devices Inc.
アダプティブエンベデッドアンドAIグループ
テクニカルマネージャー
委員 立川 研之



三菱電機株式会社FAシステム事業本部
産業メカトロニクス事業部主席技監
委員 安井 公治



Silicon Catalyst Japan株式会社
Managing Partner
委員 粟島 亨



インフィニオン テクノロジーズ ジャパン株式会社
C3事業本部 テクニカルマーケティング部
シニア ディレクター
委員 浦川 辰也



ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
アナログLSI事業部 SA開発部 1課統括課長
委員 高見 亮

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

ITメディア関連媒体による告知
ならびに取材活動



The image displays a collection of logos for various Japanese industry associations and organizations, arranged in a grid-like fashion. The logos include:

- Q-STAR**: 一般社団法人 日本ディープラーニング協会
- THE AUTOWARE FOUNDATION**: 一般社団法人 日本電子コンピュータビジョン協会
- JAPAN QUANTUM COMPUTING ASSOCIATION**: 一般社団法人 日本量子コンピュータビジョン協会
- JEITA**: 一般社団法人 電子技術による産業高度化推進協会
- JEVeC**: 一般社団法人 日本半導体製造装置協会
- NICT**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- JSST**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- QII**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- semir**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- AIPA**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- SEA**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- Secure IoT Platform**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- JARI**: 一般社団法人 日本自動車研究所
- JDCC**: 一般社団法人 日本自動車研究所
- Japan Materials Science**: 一般社団法人 日本材料科学会
- MCPC**: 一般社団法人 日本機械学会
- IPA**: 一般社団法人 情報処理推進機構
- SESAME**: 一般社団法人 情報処理推進機構
- SICE**: 一般社団法人 日本計測自動制御学会
- Japan Machine Tool**: 一般社団法人 日本機械学会
- CSIRT**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- Quantum Forum**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- EXGA**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- JPCERT**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- RSJ**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- CSAPC**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
- JEDIA**: 一般社団法人 日本電子デバイス産業協会

北海道

岩手県

山形県

石川県

広島県

山口県

三重県

長崎県

熊本県

10

時間	枠時間	6月16日(火)	6月17日(水)	6月18日(木)
9:30~10:00	30分	基調講演 1-1 テクノロジートレンド	基調講演 2-1 エッジAIインフラ	基調講演 3-1 エッジAIユースケース
10:10~10:40	30分	ご協賛企業様決定	ご協賛企業様決定	スポンサーセッション 3-1 DAY3-3-S301
10:50~11:20	30分	特別講演 1-2 エッジAIユースケース	特別講演 2-2 エッジAIユースケース	特別講演 3-2 エッジAIインフラ
11:30~12:00	30分	ご協賛企業様決定	ご協賛企業様決定	スポンサーセッション 3-2 DAY3-3-S302
13:00~13:30	30分	基調講演 1-3 テクノロジートレンド	基調講演 2-3 エッジAIユースケース	基調講演 3-3 エッジAIインフラ
13:40~14:10	30分	ご協賛企業様決定	特別講演 2-4 テクノロジートレンド	ご協賛企業様決定
14:20~14:50	30分	スポンサーセッション 1-4 DAY1-1-S104	特別講演 2-5 エッジAIインフラ	ご協賛企業様決定
15:00~15:30	30分	特別講演 1-4 テクノロジートレンド		特別講演 3-4 エッジAIユースケース
15:40~16:10	30分	スポンサーセッション 1-5 DAY1-1-S105		ご協賛企業様決定
16:20~16:50	30分	スポンサーセッション 1-6 DAY1-1-S106		スポンサーセッション 3-6 DAY3-3-S306
17:00~17:30	30分	特別講演 1-5 エッジAIユースケース		特別講演 3-5 テクノロジートレンド

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

	セッションプラン				リストプラン	
	特別プラン	ダイヤモンド	プラチナ	シルバー	全リスト	テーマリスト
スポンサーセッション	60分	30分	30分	30分	—	—
セッションアンケート	※プラチナプラン 以上でお申込み可能 ※提供内容は 各プランに準ずる	●	●	●	—	—
資料配布		●	●	●	—	—
視聴者リード（全件納品）		●	●※※	—	—	—
視聴者リード（上限あり） ※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象		—	—	●※※ （上限あり）	—	—
協賛テーマ申込者リスト（上限あり）		● （上限あり）	● （上限あり）	—	—	● （上限あり）
全申込者リスト（上限あり）		● （上限あり）	—	—	● （上限あり）	—
スポンサーロゴ掲載		●	●	●	●	●
事前アンケート結果		●	●	●	●	●
開催報告書		●	●	●	●	●
リスト件数（すべてのリスト合計数） ※リスト件数は想定数です			3,000件想定	1,000件想定	150件想定	3,000件想定
備考		※3,500件上限 ※視聴者リードは上限を超えても全件納品	※1,200件上限 ※視聴者リードは上限を超えても全件納品	※250件上限	※3,500件上限	※1,200件上限
	※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります					
料金（すべて税別・グロス価格）	ダイヤモンドプラン、 プラチナプランに + ¥1,000,000-	¥3,500,000-	¥2,500,000-	¥1,500,000-	¥3,500,000-	¥2,500,000-

※※プラチナプランおよびシルバープランの視聴者リードに関して：
視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。
視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。

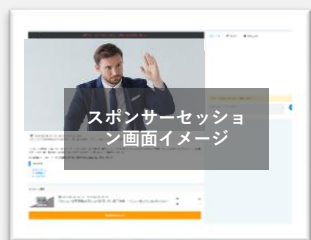
プラチナプラン以上申込社限定 セッション時間拡大 特別プラン

ご提供内容	● 通常30分のスポンサーセッション枠を60分に拡大 ● トータルコストを抑えつつ柔軟な構成が可能 ○ 例) パートナー企業との対談形式 ○ 例) パートナー企業とのリレー形式 ○ 例) スポンサーセッション+デモ実演 ※ 編集部による企画・講師アサインは行いません ※ リードなどのご提供物はお申し込みいただいたプランに準じます	配信枠	各開催日のスポンサーセッション枠のうち、 連続した2枠 が対象	<table><tr><td>13：00～13：30</td><td>30分</td><td>基調講演</td></tr><tr><td>13：40～14：10</td><td>30分</td><td>スポンサーセッション</td></tr><tr><td>14：20～14：50</td><td>30分</td><td>スポンサーセッション</td></tr><tr><td>15：00～15：30</td><td>30分</td><td>特別講演</td></tr><tr><td>15：40～16：10</td><td>30分</td><td>スポンサーセッション</td></tr><tr><td>16：20～16：50</td><td>30分</td><td>スポンサーセッション</td></tr><tr><td>17：00～17：30</td><td>30分</td><td>特別講演</td></tr></table>	13：00～13：30	30分	基調講演	13：40～14：10	30分	スポンサーセッション	14：20～14：50	30分	スポンサーセッション	15：00～15：30	30分	特別講演	15：40～16：10	30分	スポンサーセッション	16：20～16：50	30分	スポンサーセッション	17：00～17：30	30分	特別講演	13：40～14：40 特別プラン スポンサーセッション 60分 または 15：40～16：40 特別プラン スポンサーセッション 60分
13：00～13：30	30分			基調講演																						
13：40～14：10	30分	スポンサーセッション																								
14：20～14：50	30分	スポンサーセッション																								
15：00～15：30	30分	特別講演																								
15：40～16：10	30分	スポンサーセッション																								
16：20～16：50	30分	スポンサーセッション																								
17：00～17：30	30分	特別講演																								
仕様	配信形式は ライブ配信 または 録画配信 となります ● ライブ配信の場合 ○ PC画面共有によるデモ実演は可能（実機デモ等はトラブル防止のため推奨いたしません） ○ 同時に登壇できる人数は最大2名までです ○ カメラ台数は1台となります ● 録画配信の場合 ○ 貴社講演動画を事前にご提供ください ○ MP4形式 ○ ご提供いただいた動画の編集、テロップ入れは行いません ○ 動画制作をご希望の場合はオプションメニュー「セッション収録サポート」をご利用ください（料金 ¥200,000～）	パートナー企業との対談形式 パートナー企業とのリレー形式 貴社セッション + デモ実演 など… 自由にカスタマイズいただけます	● 枠の確保 ○ 連続した2枠を使用するため、他社様の予約状況によってはご希望の時間帯で実施できない場合がございます。 ● リード提供 ○ 個人情報の納品はお申込み企業様のみに行います。 ○ パートナー企業への共有は、貴社プライバシーポリシーに基づきご対応ください。																							
ご実施条件	ご協賛メニュー「 ダイヤモンドプラン 」「 プラチナプラン 」を定価にてお申し込みください。	料金	ダイヤモンドプラン ¥4,500,000-	プラチナプラン ¥3,500,000-																						
		お申込締切	2026年5月19日(火)																							

※価格はすべて税別・グロス

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能。



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由に設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：
ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能

| 協賛テーマ申込者リスト

- 協賛テーマ申込者のリード情報をご提供。
 - ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など
- ※事前申込時に該当テーマを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
 - 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。
- ※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで参加者へアンケートを実施。集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報を含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

参加意欲が高まる 開催2週間前～開催直前に注力

01

申込者数目標の達成

92.5%

80企画 中74企画が会期内に達成

02

申込者数達成率

122.4%

実申込者数 ÷ 想定申込者数
の中央値

03

参加率（歩留まり）

82.2%

参加者数 ÷ 実申込者数の中央値

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



掲載動画イメージはこちら

③ ITmediaの各媒体から誘導を実施

④ 視聴者リードのご提供も可能

TechLIVE
by ITmedia

<https://techlive.itmedia.co.jp/>

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

詳細はこちら

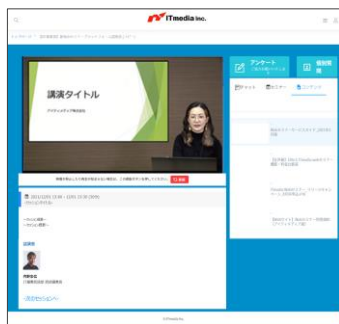
- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします。
- **掲載対象動画**
 - 当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- **掲載開始時期**
 - ご協賛いただくイベントが終了し次第順次（掲載タイミングにつきましては、当社に一任いただきます）
- **掲載費用**
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- **動画の取り扱い**
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - **動画タイトル・紹介文・サムネイル画像について**
 - 動画タイトルや概要文については、貴社講演の情報をもとに、視聴者に伝わりやすいよう当社で変更する場合がございます。
 - 動画のサムネイル画像については当社に一任いただきます。
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **動画の視聴について**
 - オープニングはどなたでも視聴可能ですが、最後まで視聴するにはアイティメディアID会員に登録が必要です。
- **視聴者のリード情報について**
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

イベントで配信したセッション動画を二次展開し、さらなるリード獲得にご活用いただけます

本イベント セッション登壇付きプラン

スポンサーセッションを通じて、
当該テーマで情報収集中の読者に対し
貴社メッセージを訴求いただけます。

▼スポンサーセッション配信画面イメージ



リード提供数 **3,000件想定**

※ ダイヤモンドプランの場合
※ イベント、プランによって変動します

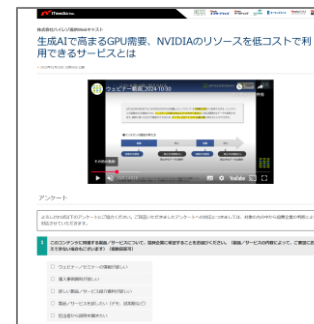
オプションメニュー セッション動画活用リード獲得

本イベントご講演動画1本＋貴社ご所有の関連コンテンツ1～2本を
弊社メディア内に掲載し、閲覧者のリードを提供します。
(マスク化して設置し、閲覧時に個人情報提供の許諾を取得)

▼コンテンツ紹介画面



▼コンテンツ閲覧画面
(動画の場合)



詳細は[こちら](#)をご覧ください。

リード提供数 **+100件保証**

料金 (税別・グロス価格)

¥4,400,000-

※ ユーザー企業限定

※画像はイメージです。

貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

セッション収録サポート

開催日1.5カ月前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000～**

リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn>

料金 **¥200,000**

リードカスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金はリード件数によって変動

アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画（1分以内を推奨、最長2分まで）の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv>

料金 **¥500,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechFactoryに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性 & 件数を保証したリード獲得】が可能。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvr>

建設業向け：¥1,300,000
製造業向け：¥1,100,000

料金 **¥900,000**

レポート記事配信（ターゲットへプッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM 15,000通～

料金 **¥1,000,000～**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- モノづくり・建築などの産業テクノロジー関心層が多く集まるメディア横断でタイアップ記事への誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvk>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 3,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

セッションパンフレット作成（製造・建設関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvv>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

料金 **¥3,000,000**
価格・割引率はご協賛イベントによって変動いたします。

カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk>

料金 **¥50,000～**

CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

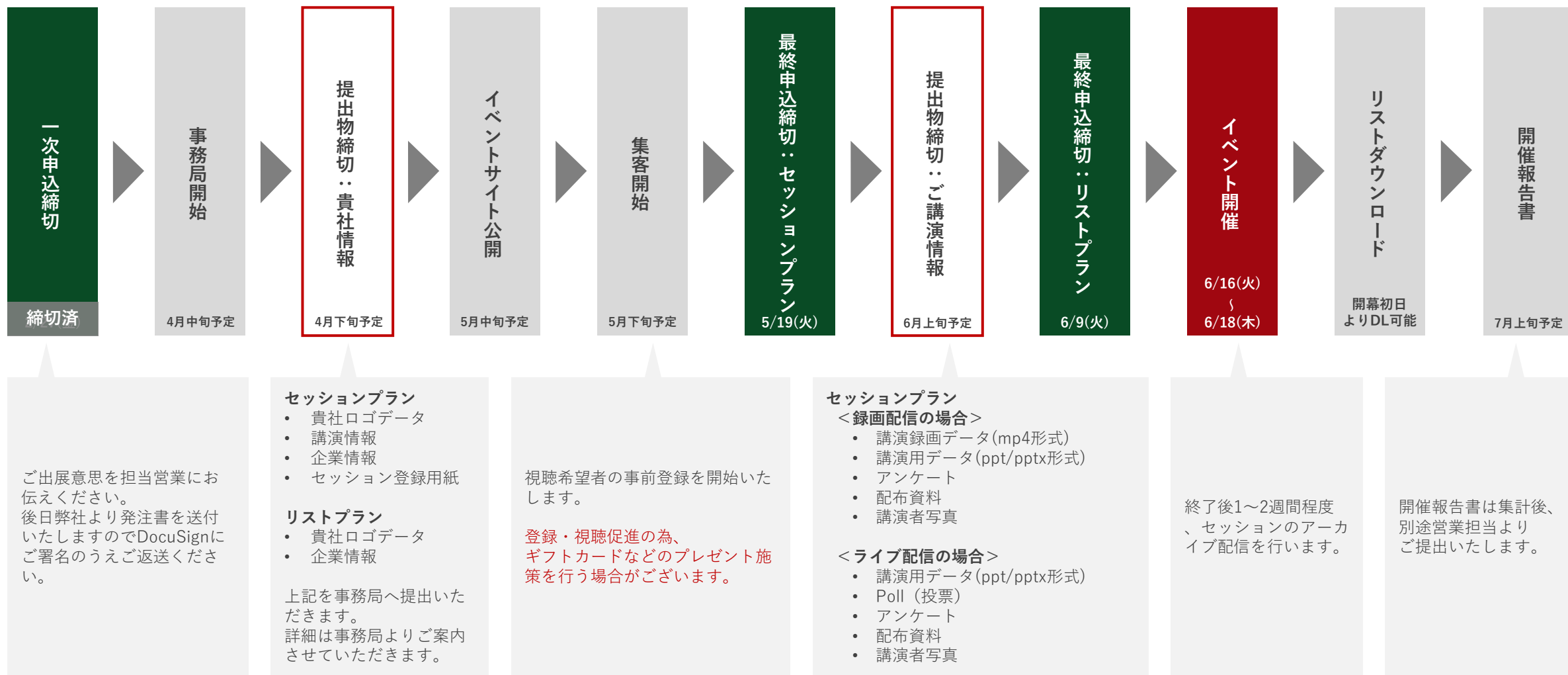
- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡いたします。



※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル **：契約金額の50%**
開催日40日以内のキャンセル **：契約金額の100%**

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れの現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

- ・総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- ・総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

EE Times Japan

世界のエレクトロニクス動向が分かる総合情報メディア

■媒体資料

■URL

■PV/UB

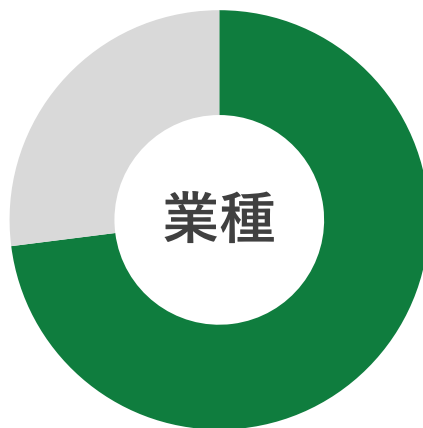
■メルマガ配信数

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-08-30/rftx7w>

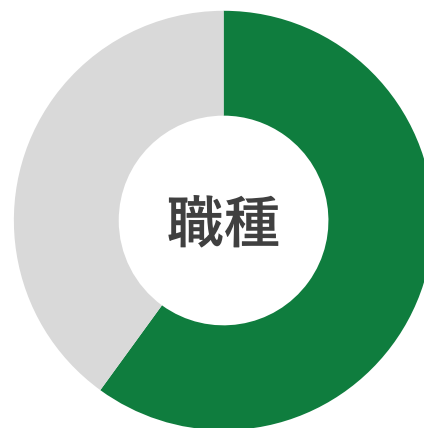
<https://eetimes.itmedia.co.jp/>

約175万 PV/月 約52万 UB/月 ※2025年7月実績

約14.0万通 ※電子機器設計／組み込み開発 メールマガジン

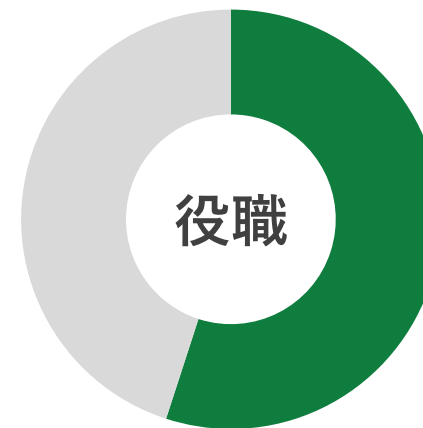


製造業 約**72%**



モノづくり関連職 約**63%**

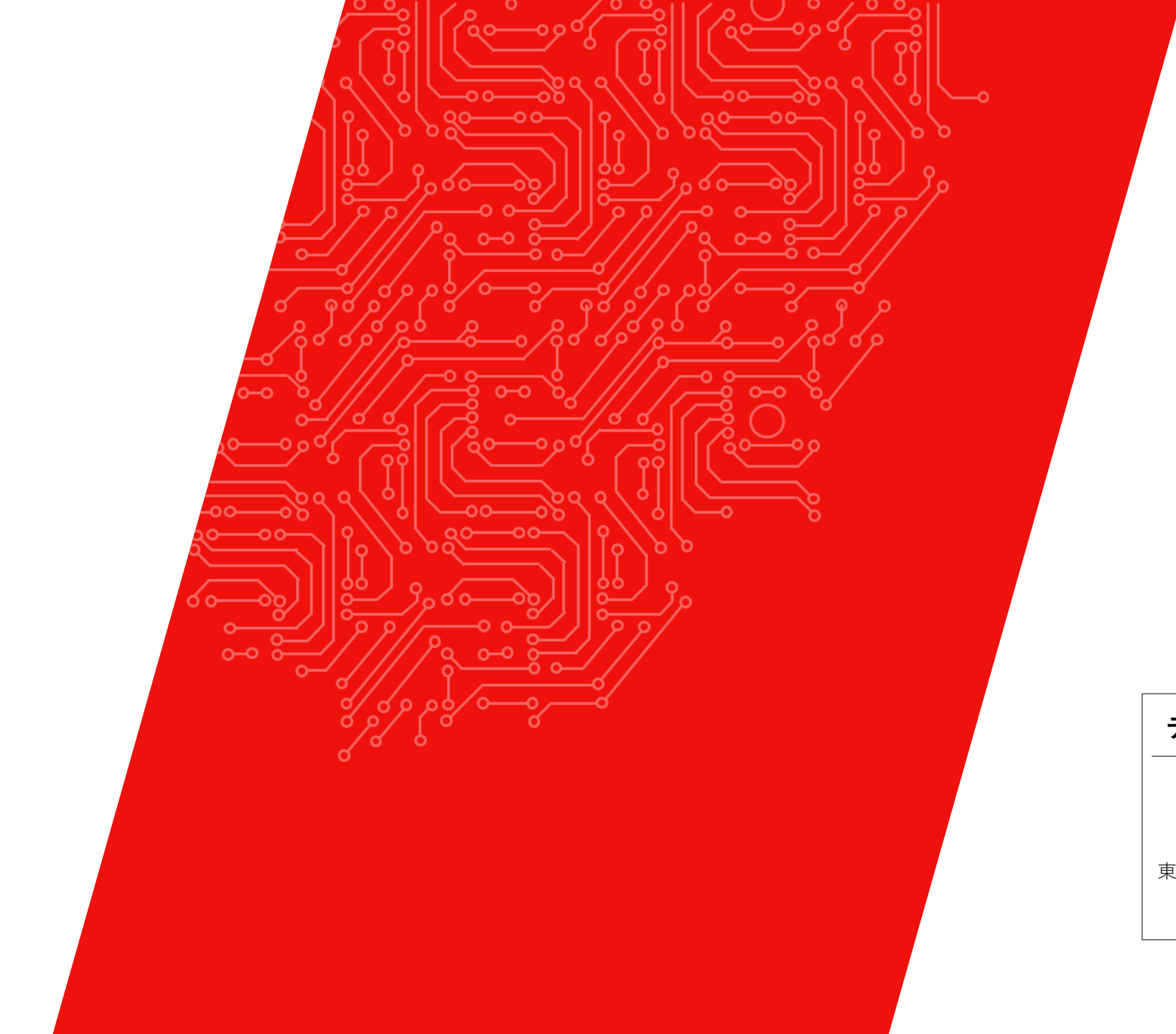
主な内訳：モノづくり関連職 62.5%, その他 37.5%



課長クラス以上 約**55%**

主な内訳：課長クラス 19.8%,
係長・主任クラス 19.8%

※「EE Times Japan / EDN Japan」読者調査データより（2024年8月）



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)